

ES/1 NEO

MFシリーズ

V05L22R2

Release News Letter

IBMシステム

目次

【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて
PC製品 サポート終了のお知らせ

【HOST】

資源使用量比較一覧	
リリースニュースレター機能一覧 プロセッサ別	… 1
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 2
リアルタイム分析機能の拡張	… 3
MF-ADVISOR	… 6
MF-MAGIC	… 9
MF-DB2	… 12
MF-CICS	… 13
MF-eASSIST	… 14

【PC】

リリースニュースレター機能一覧 プログラム別	… 18
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 19
Performance Navigator	… 20
Web	… 22

 株式会社 アイ・アイ・エム

本リリースニュースレターは、V05L22R2 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア(x:¥Rnl)内のレターをご参照ください。

改版履歴

日付	版数	内容
2025/2/1	1	V05L22R2 リリース

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより30ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。



図. 製品ライフサイクルのイメージ

<バージョン（バージョン・レベル・リビジョン）の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L21R3 の場合

V 0 5 L 2 1 R 3

バージョン レベル リビジョン

```
LICENSEE ----- TRIAL USER
EXPIRATION DATE ----- 2022/5/31
VERSION/LEVEL/REVISION --- 05.21.03
```

<今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L22R2	2025年2月	2027年8月31日
V05L22R1	2024年2月	2027年8月31日
V05L21R3	2023年2月	2025年8月31日
V05L21R2	2022年2月	2025年8月31日
V05L21R1	2021年10月	2025年8月31日

<通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

<バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

PC製品 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のオペレーティング・システム、アプリケーションを、下記の期日でサポート終了とさせていただきます予定です。

<サポート終了オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10 サポート終了時期：2026年10月末

<サポート終了アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016 サポート終了時期：2026年10月末

V05L22R2 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

<オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10 (2026年10月末まで)

Microsoft® Windows® Server 2016

Microsoft® Windows® Server 2019

Microsoft® Windows® Server 2022

Microsoft® Windows® 11

<アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016 (2026年10月末まで)

Microsoft® Excel2019 / Word2019

Microsoft® Excel2021 / Word2021

Microsoft® 365 Apps (Office®365)

Microsoft Edge

Google Chrome

.NET Framework 4.6.2 以上

ES/1 NEO MFシリーズ V05L22R2 資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L22R2 と、以前のリリース (V05L22R1) との資源使用量比較一覧です。
各項目の意味は以下の通りです。

CPU		以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	本体	以前のリリースと比較し、使用仮想記憶域が増加した量を示します。 この結果は、入力されるデータには関係ありません。
	データ	以前のリリースと比較し、上記本体の増分以上に使用仮想記憶域が増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。

		V05L22R1 vs V05L22R2		
		CPU	STG	
			本体 (KB)	データ
MF-ADVISOR	CPECNVRT	—	0	—
	CPEPRT00	—	4	—
	CMOSPRTO	●	4	●
	HIBICHKO	—	4	—
	CPEREG00	—	4	—
	SMFPRT00	—	4	—
	CPEDSN00	—	4	—
	RAIDPRTO	—	4	—
	RAIDCNFO	—	4	—
	VOLLST00	—	4	—
	CPEMGS00	—	4	—
MF-MAGIC	CPEDBAMS	—	4	—
	BOXSYS00	—	4	—
	BOXWLC00	—	4	—
MF-SCOPE	JOBANLST	—	4	—
	JOBMONTH	—	4	—
	JOBDTL10	—	4	—
	AUDITPRT	—	4	—
	AUDITMON	—	4	—
MF-PREDICT	PNAVIA DT	—	4	—
	PRDIOS00	—	4	—
	CPEDSN00	—	4	—
MF-AUDIT	CPEREG00	—	4	—
	AUDITPRT	—	4	—
	DSNGSV00	—	4	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	AUDITMON	—	4	—
	PNAVIA DT	—	4	—
	CPEASDO	—	4	—
	PAGPRT00	—	4	—
	CPEVOLGP	—	4	—
	CPEAPEO	—	4	—
	CPEVTS00	—	4	—
	CPEVSM00	—	4	—
	DSNGSV00	—	4	—
	TSSCSV00	—	4	—
	CPEVS700	—	4	—
JOBDSNCV	—	4	—	
MF-eASSIST	VOLCHK00	—	4	—
	PNAVIA CEC	●	104	●
	PNAVJ0B0	—	4	—
	PNAVJ0B1	—	4	—
	PNAVIVSP	—	4	—
	PNAVIMS	—	4	—
	PNAVIMSL	—	4	—
	PNAVIMSF	—	4	—
	PNAVICS	—	4	—
	PNAVIVTS	—	4	—
	PNAVIVSM	—	4	—
	PNAVIB2	●	4	●
	PNAVIA DT	—	4	—
	PNAVTS70	—	4	—
PNGICSST	—	4	—	
PNAVISR M	—	4	—	
MF-ZVM	ZVMPT00	—	4	—
	ZVMGSV00	—	4	—
MF-WebSphere	CPEWAS00	—	4	—
MF-DB2	CPEDB200	●	52	●
	DB2TRC00	—	4	—
MF-CICS	CICSPRTO	—	4	—
	CICSTRCO	—	4	—

※本体の使用仮想記憶域の増加が大きい場合、該当の箇所の色を付けて表示します。

例.	MF-ADVISOR	CPEPRT00	—	124	—
		CMOSPRTO	—	4	—

- 注意：(1) 本資料は弊社環境 (IBM環境) での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。
(2) 実行時に仮想記憶領域不足が発生する場合は、OVER16機能をご使用ください。

【OVER16機能 指定方法】実行するプロセッサのJCLに次のような指定を追加してください。

REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

//SHELL EXEC PGM=CPESHELL. REGION=1024M, PARM=PARM	<=追加・変更
//SYSPPRINT DD SYSOUT=*	
//SYSUDUMP DD SYSOUT=*	
//SYSUT1 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 5))	
//CPEPARM DD *	<=追加
OVER16=SYMBOL	<=追加
OSTYPE=#OSTYPE	<=追加

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編 (IBM / 富士通 / 日立システム)」
'3.3.2 OVER16機能' をご参照ください。

【HOST】機能一覧 プロセッサ別

既存プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
リアルタイム 分析機能	-	拡張	1	リアルタイム分析機能の拡張					シスプレックスデータサーバー	3	522-201
	CPEERB01	拡張	2	CPEERB01プログラムの追加					シスプレックスデータサーバー	4	522-202
	-	拡張	3	実行用サンプルJCLの追加					シスプレックスデータサーバー	5	522-203
MF-ADVISOR	CPESHELL	拡張	4	CFサブチャネル情報対応					レコードタイプ74.4	6	522-205
		拡張	5	SuperPAV関連情報対応					レコードタイプ78.3	6	522-206
		拡張	6	DB2_IFCID 225レコード対応					IFCID 225	6	522-207
	CMOSPRTO	拡張	7	CFサブチャネル関連情報対応				●	レコードタイプ74.4	7	522-208
		拡張	8	SuperPAV関連情報対応				●	レコードタイプ78.3	8	522-209
MF-MAGIC	CPEDBAMS	拡張	9	CPEDBAMSにINSELECT制御文を追加				●		9	522-210
		拡張	10	CPEDBAMSにOPTION XCFSとXCFS制御文を追加				●	レコードタイプ74.2	10	522-211
		不具合	11	分割レコードのインターバル変更時に10エラー					レコードタイプ74.2と74.4の分割レコード	11	522-212
MF-DB2	CPEDBS200	拡張	12	DB2_IFCID 225レコード対応				●	IFCID 225	12	522-213
MF-CICS	CICSPRTO	拡張	13	緊急性の低いメッセージ出力を抑制					レコードタイプ110.2	13	522-214
MF-eASSIST	PNAVICEC	拡張	14	CFサブチャネル関連情報対応					レコードタイプ74.4	14	522-215
		拡張	15	SuperPAV関連情報対応					レコードタイプ78.3	15	522-216
	PNCICSST	拡張	16	緊急性の低いメッセージ出力を抑制					レコードタイプ110.2	16	522-217
	PNAVIDB2	拡張	17	DB2_IFCID 225レコード対応					IFCID 225	17	522-218

◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

【HOST】機能一覧 カテゴリ別

既存プロセッサ

拡張一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
リアルタイム 分析機能	-	拡張	1	リアルタイム分析機能の拡張					シスプレックスデータサーバー	3	522-201
	CPEERB01	拡張	2	CPEERB01プログラムの追加					シスプレックスデータサーバー	4	522-202
	-	拡張	3	実行用サンプルJCLの追加					シスプレックスデータサーバー	5	522-203
MF-ADVISOR	CPESHELL	拡張	4	CFサブチャネル情報対応					レコードタイプ74.4	6	522-205
		拡張	5	SuperPAV関連情報対応					レコードタイプ78.3	6	522-206
		拡張	6	DB2_IFCID 225レコード対応					IFCID 225	6	522-207
	CMOSPRT0	拡張	7	CFサブチャネル関連情報対応				●	レコードタイプ74.4	7	522-208
		拡張	8	SuperPAV関連情報対応				●	レコードタイプ78.3	8	522-209
		拡張	9	CPEDBAMSにINSELECT制御文を追加				●		9	522-210
MF-MAGIC	CPEDBAMS	拡張	10	CPEDBAMSにOPTION XCFSとXCFS制御文を追加				●	レコードタイプ74.2	10	522-211
		拡張	11	DB2_IFCID 225レコード対応				●	IFCID 225	12	522-213
MF-DB2	CPEDBS200	拡張	11	DB2_IFCID 225レコード対応				●	IFCID 225	12	522-213
MF-CICS	CICSPRT0	拡張	12	緊急性の低いメッセージ出力を抑制					レコードタイプ110.2	13	522-214
MF-eASSIST	PNAVICEC	拡張	13	CFサブチャネル関連情報対応					レコードタイプ74.4	14	522-215
		拡張	14	SuperPAV関連情報対応					レコードタイプ78.3	15	522-216
	PNCICSST	拡張	15	緊急性の低いメッセージ出力を抑制					レコードタイプ110.2	16	522-217
		拡張	16	DB2_IFCID 225レコード対応					IFCID 225	17	522-218

不具合一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-MAGIC	CPEDBAMS	不具合	1	分割レコードのインターバル変更時に10エラー					レコードタイプ74.2と74.4の分割レコード	11	522-212

◇表項目の説明

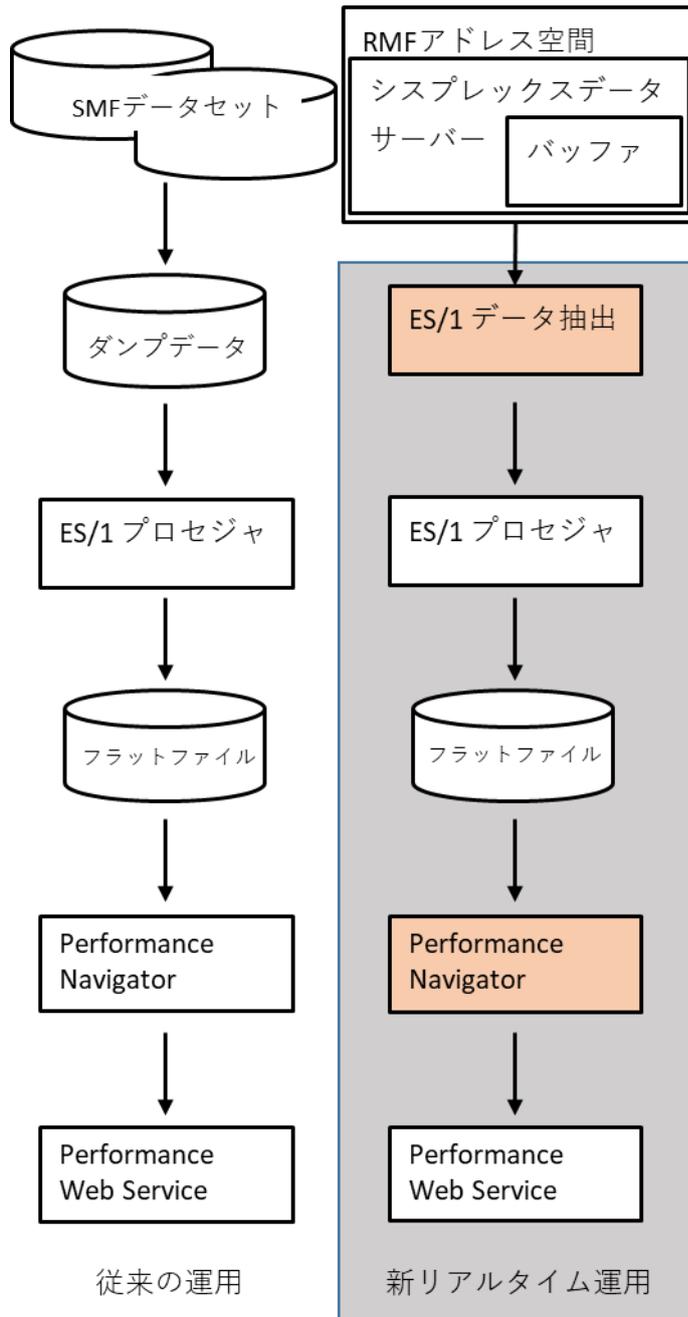
- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

リアルタイム分析機能の拡張

522-201. リアルタイム分析機能の拡張

分類		数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—
					シスプレックスデータサーバー

SMF データセット (SYS1.MANx) からではなく、RMF アドレス空間内にあるシスプレックスデータサーバーが持つ SMF バッファから、直接 RMF レコードを取得する機能を追加しました。(下図リアルタイム運用)



以下の処理を一定間隔で実行することにより、直近の状況を Performance Web Service 上で確認できます。

- ・ CPEERB01 プログラムを実行し、実行時刻の数分前までの直近データを抽出
- ・ 抽出したデータを入力としてレポートやグラフ作成用のフラットファイルを生成（既存機能）
- ・ 管理用 PC に転送し、Performance Navigator でグラフ作成（既存機能）
- ・ 作成されたグラフを Performance Web Service に反映（既存機能）

追加した各機能の詳細は次以降の各項をご参照ください。

522-202. CPEERB01 プログラムの追加

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	シスプレックスデータサーバー

RMF アドレス空間内にあるシスプレックスデータサーバーが持つ SMF バッファから RMF レコードを抽出する CPEERB01 を追加しました。これにより SMF ダンプをせず、直接 RMF レコードの情報を読み込むことができるようになります。

<CPEERB01 プログラム>

IBM の公開サービス ERBDSQRY と ERBDSREC を呼び出し、その結果を可変長データセットに書き出す。

<サンプル JCL>

```
//*****
//*   CPEERB01: GET RMF DATA FROM SDS SMF BUFFER   *
//*****
//*
//CPEERB01 EXEC PGM=CPEERB01,REGION=4096K
//SYSUDUMP DD SYSOUT=*
//SYSPRINT DD SYSOUT=*
//OUTPUT DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(15,15)),
// DCB=(DSORG=PS,RECFM=VBS,LRECL=32756,BLKSIZE=32760),
// DISP=(NEW,PASS),DSN=&&RMFTMP
//*
```

【注意/制限事項】

- ・ シスプレックスデータサーバーの SMF バッファは RMF 起動時に有効化しておく必要があります。
- ・ CPEERB01 実行ユーザにはシスプレックスデータサーバーにアクセスする為の RACF 権限が必要です。

522-203. 実行用サンプル JCL の追加

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	シスプレックスデータサーバー

GPEERB01 プログラムを用いたリアルタイム分析機能の推奨フラットファイルやレポートを出力できるサンプル JCL を追加しました。ライブラリ GPE.PARM に格納しています。この JCL を定期的に行うことにより、直近のパフォーマンス情報が取得できます。

【追加した実行用サンプル JCL】

- ・ JCLSDS70 RMF のフラットファイルとレポート作成
- ・ JCLSDS7F RMF のフラットファイル作成
- ・ JCLSDS7R RMF のレポート作成
- ・ JCLSDS7S RMF のフラットファイルとレポート作成(スポット評価用)

MF-ADVISOR

CPESHELL

522-205. CF サブチャネル情報対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	レコードタイプ 74.4

CF サブチャネル情報が有効なレコードタイプ 74.4 を読み込んだ際、CF サブチャネル関連データをシンボル出力するように CPESHELL を拡張しました。追加したシンボルは下記の通りです。

名前	説明	形式
R744SCST	ピア完了待ちによる遅延時間の合計(マイクロ秒)	数値
R744SCTC	ピア完了待ちによる遅延要求数	数値
R744SDRC	ダンプ逐次化による遅延要求数	数値
R744SPSC	ピア・サブチャネル待ちによる遅延時間の合計(マイクロ秒)	数値
R744SPTC	ピア・サブチャネル待ちによる遅延要求数	数値

522-206. SuperPAV 関連情報対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	レコードタイプ 78.3

SuperPAV が有効なレコードタイプ 78.3 を読み込んだ際、SuperPAV 関連データをシンボル出力するように CPESHELL を拡張しました。追加したシンボルは下記の通りです。

名前	説明	形式
R783AMGS	別名管理グループ番号 (SuperPAV データのみ有効)	文字
R783XANC	別名が必要であった回数。(SuperPAV データのみ有効)	数値
R783XAUC	別名が使用された回数 (SuperPAV データのみ有効)	数値
R783XNHC	ホーム LCU で使用可能な別名がなかった回数 (SuperPAV データのみ有効)	数値
R783XABC	別名をピア LCU から借用した回数。(SuperPAV データのみ有効)	数値
R783XCBC	ピア LCU から同時に借用された別名の数 (SuperPAV データのみ有効)	数値
R783XHBC	ピア LCU から同時に借用された別名の最大数 (SuperPAV データのみ有効)	数値
R783XALC	別名がピア LCU に貸し出された回数 (SuperPAV データのみ有効)	数値
R783XCLC	ピア LCU に同時に貸し出された別名の数 (SuperPAV データのみ有効)	数値
R783XHLC	ピア LCU に同時に貸し出された別名の最大数 (SuperPAV データのみ有効)	数値
R783XNAG	ピア LCU で使用可能な別名がなかった回数 (SuperPAV データのみ有効)	数値
R783XCQD	キューに入れられた入出力の累積数 (SuperPAV データのみ有効)	数値
R783XCIU	使用された別名の累積数	数値

522-207. DB2_IFCID 225 レコード対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	IFCID 225

64 ビットアドレッシング環境において、DB2 は 2GB 以上の領域を使用し、その情報を IFCID 225 レコードに書き出します。この 2GB 以上の領域でページングが発生すると DB2 のパフォーマンスに影響を与えるため、IFCID 225 データを ES/1 で扱えるように CPESHELL を拡張しました。

CMOSPRTO

522-208. CF サブチャネル関連情報対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●	レコードタイプ 74.4

CF サブチャネル情報が有効なレコードタイプ 74.4 を読み込んだ際、CF サブチャネル関連データをレポートできるように CMOSPRTO プロセッサを拡張しました。

<対象レポート>

- ・ ストラクチャ使用状況詳細レポート (SSW84)
- ・ 結合機構サブチャネル詳細レポート (SSW85)

【追加スイッチ】

SSW84
SSW85

- SSW84 = 0 : ストラクチャ使用状況詳細レポートを出力しない(省略値)
- = 1 : ストラクチャ使用状況詳細レポートを出力する
- SSW85 = 0 : 結合機構サブチャネル詳細レポートを出力しない(省略値)
- = 1 : 結合機構サブチャネル詳細レポートを出力する

【ストラクチャ使用状況詳細レポート (SSW84)】

<V05L22R2>

```

(C) I I M CORP. 1987-2025      EXPERT SYSTEM / ONE      *** SYSPLEX SUMMARY REPORT ***      CMOSPRTO 5
PSW=SSW84                      --- COUPLING FACILITY STRUCTURE DETAIL ACTIVITY ( ACF1 ) ---      VER=05 LVL=22

      CFNAME = XCF1      , STRUCTURE NAME = STRUCTR_XXXXX01      , TYPE = CACHE
      SYS *--REQ--* *--SYNC--* *--ASYN--* CHGD *---NO SCH---* *---PR WT---* *---PR CMP---* *--DUMP---*
YY/MM/DD HHMM NAME TTL      AVG REQ      SERV REQ      SERV REQ      REQ /DELY /ALL REQ /DELY /ALL REQ /DELY /ALL REQ /DELY
      (/S) (%) (MIC) (%) (MIC) (%) (%) (MIC) (MIC) (%) (MIC) (MIC) (%) (MIC) (MIC) (%) (MIC)
24/03/14 0900 I1M2 180 0.20 50.6 34.5 49.4 92.3 0.6 0.0 0.0 0.0 1.1 1.0 0.0 1.7 1.0 0.0 2.2 1.0
      I1M3 538 0.60 83.5 24.6 16.5 84.2 0.2 0.0 0.0 0.0 0.4 1.0 0.0 0.6 1.0 0.0 0.7 1.0
24/03/14 0915 I1M2 180 0.20 50.0 33.8 50.0 89.8 0.6 0.0 0.0 0.0 1.1 1.0 0.0 1.7 1.0 0.0 2.2 1.0
      I1M3 540 0.60 83.5 24.4 16.5 81.3 0.2 0.0 0.0 0.0 0.4 1.0 0.0 0.6 1.0 0.0 0.7 1.0
  
```

【結合機構サブチャネル詳細レポート (SSW85)】

<V05L22R2>

```

(C) I I M CORP. 1987-2025      EXPERT SYSTEM / ONE      *** SYSPLEX SUMMARY REPORT ***      CMOSPRTO 221
PSW=SSW85                      --- SUBCHANNEL DETAIL ACTIVITY ( ACF1 ) ---      VER=05 LVL=22

      SYS *--REQ--* *--PATH--* *--SCH--* UNS *--SYNC--* *--ASYN--* DELY *--DELAYED_LIST--* *--DELAYED_CACHE* *--DELAYED_LOCK--*
YY/MM/DD HHMM NAME TTL      AVG      US MX BSY US MX BSY CNT REQ      SERV TTL      REQ /DELY /ALL REQ /DELY /ALL REQ /DELY /ALL
      (/S)      CNT      CNT      (%) (MIC) (%) (MIC) (%) (%) (MIC) (MIC) (%) (MIC) (MIC) (%) (MIC) (MIC) (%) (MIC)
24/03/14 0900 I1M2 7M 8600 2 2 3K 14 14 0 0 83.5 20.8 15.9 79.1 0.2 0.0 1428 0.0 0.2 1568 2.6 0.0 30.7 0.0
      I1M3 8M 9568 2 2 503 14 14 0 0 82.3 21.1 17.2 75.3 0.1 0.0 1567 0.1 0.1 1824 2.3 0.0 20.8 0.0
24/03/14 0915 I1M2 8M 9467 2 2 3K 14 14 0 0 83.9 21.0 16.4 79.4 0.1 0.0 1503 0.0 0.1 1390 1.8 0.0 20.6 0.0
      I1M3 7M 8029 2 2 92 14 14 0 0 80.9 20.9 18.9 73.3 0.1 0.0 679.0 0.0 0.1 1064 0.8 0.0 16.7 0.0
  
```

522-209. SuperPAV 関連情報対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●	レコードタイプ 78.3

SuperPAV が有効なレコードタイプ 78.3 レコードを読み込んだ際、SuperPAV 関連データをレポートで出力できるように CMOSPRTO プロセッサを拡張しました。既存の SW65 スイッチで、従来の HyperPAV 関連情報に加えて出力されます。

<対象レポート>

- ・ SuperPAV 構成レポート (SW65)
- ・ SuperPAV 使用状況レポート (SW65)

【指定スイッチ】

SW65

- SW65 = 0 : HyperPAV/SuperPAV 関連レポートを出力しない(省略値)
 = 1 : HyperPAV/SuperPAV 関連レポートを出力する

【SuperPAV 構成レポート (SW65)】

<V05L22R2>

```
(C) I I M CORP. 1987-2025 EXPERT SYSTEM / ONE *** INTERVAL SUMMARY REPORT *** CMOSPRTO 12
PSW=SW65 --- SUPERPAV CONFIGURATION REPORT --- VER=05 LVL=22

--AMG--- LCU -----
00000001 0001 0002 0003 0004 0005
00000002 0006 0007 0008 0009 000A 000B 000C
(NONE) 000D 000E
```

【SuperPAV 使用状況レポート (SW65)】

<V05L22R2>

```
(C) I I M CORP. 1987-2025 EXPERT SYSTEM / ONE *** INTERVAL SUMMARY REPORT *** CMOSPRTO 13
PSW=SW65 --- SUPERPAV ACTIVITY REPORT --- VER=05 LVL=22

----- 00000001 ----- 00000002 -----
YY/MM/DD HHMM ALIAS SCCS% QUE ALIAS SCCS% QUE
24/01/06 2330 72 100.00 ..... 12 100.00 .....
24/01/07 0000 3194 100.00 ..... 531 100.00 .....
24/01/07 0030 492 100.00 ..... 3032 100.00 .....
```

MF-MAGIC

CPEDBAMS

522-210. CPEDBAMS に INSELECT 制御文を追加

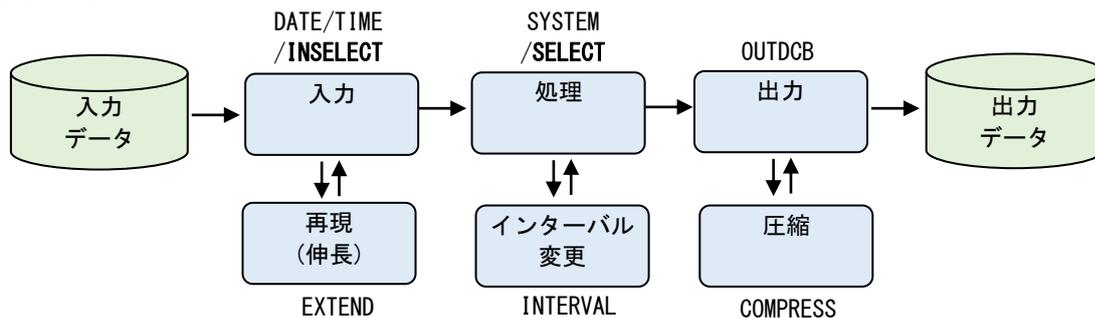
分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●	

データ入力時に対象レコード番号を指定できる INSELECT 制御文を追加しました。なお、第一オペランドは「INPUT」で固定です。

【追加した制御文】

```
INSELECT INPUT, レコードタイプ
```

【処理概要図】



【指定例】

- ① レコードタイプ 70 から 78 のみを入力にして、インターバル変更してから出力する

```
INSELECT INPUT, 70-78
INTERVAL , HOUR
SELECT OUTPUT, 0-255
```

- ② レコードタイプ 70 と 74.2 のみを入力にして、インターバル変更してから出力する

```
INSELECT INPUT, 70, 74.2
INTERVAL , HOUR
SELECT OUTPUT, 0-255
```

【注意/制限事項】

- ・ INSELECT 制御文は 1 行だけで、複数行の指定はできません。
- ・ 複数システムデータが入力の場合も画一的にレコード番号を絞ります。
- ・ INSELECT 文が指定された場合でも既存の SELECT 文指定は必要です。

522-211. CPEDBAMS に OPTION XCFS と XCFM 制御文を追加

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●	レコードタイプ 74.2

XCF 状況を記録するレコードタイプ 74.2 にはシステムデータ、パスデータ、メンバーデータの3つのセクションがあります。インターバル変更時、ワーク域を使ってこれらのセクションデータの累計計算を行います。しかしデータ量が非常に多い場合、ワーク域の上限をオーバーしてしまう可能性があります。

パスデータセクションについては既にワーク域の拡大を定義できる機能がある為、他2つのセクション用にも同様の機能を追加しました。

【追加した制御文】

```
OPTION XCFS, システムデータセクション数
OPTION XCFM, メンバーデータセクション数
```

それぞれシステムデータセクションのワーク域上限数とメンバーデータセクションのワーク域上限数を定義します。

省略値はシステムデータセクションが 64、メンバーデータセクションが 800 です。

【指定例】

ワーク域上限をシステムデータセクションでは 80、パスデータセクションでは 400、メンバーデータセクションでは 1500 で定義してインターバル変更をする。

```
OPTION XCFS, 80
OPTION XCFP, 400
OPTION XCFM, 1500
INTERVAL , HOUR
SELECT OUTPUT, 0-255
```

【注意/制限事項】

- ・ パスデータセクション用の「OPTION XCFP」制御文は既存機能です。

522-212. 分割レコードのインターバル変更時に 10 エラー

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	レコードタイプ 74.2 と 74.4 の分割レコード

【現象】

レコードタイプ 74.2 と 74.4 の分割レコードをインターバル変更する場合、次のエラーメッセージを出力して終了コード 10 でエラーしていました。

<メッセージ>

```
*** ERROR *** RECORD LENGTH IS GREATER THAN LRECL SPECIFIED IN THE DCB.
```

【原因】

インターバル変更時、各セクションの集計を行うためワーク域上で分割レコードを統合します。この際書き出し時に DCB 上限である 32756 バイトを超えていました。

【対処】

レコードタイプ 74.2 と 74.4 の分割レコード処理を見直し、分割レコードの場合はインターバル変更を行わないようにロジックを修正しました。インターバル変更を行わなかった場合、下記メッセージを出力します。

```
*** WARNING *** TYPE74. x RECORD IS BROKEN.  

*** WARNING *** THE INTERVAL FOR THIS RECORD DOES NOT CHANGE.
```

【注意/制限事項】

- ・ 上記メッセージが出力された場合、出力データにはインターバル変更されているデータとされていないデータが混在します。

MF-DB2

CPEDB200

522-213. DB2_IFCID 225 レコード対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	●	IFCID 225

64 ビットアドレッシング環境において、DB2 は 2GB 以上の領域を使用し、その情報を IFCID 225 レコードに書き出します。この 2GB 以上の領域でページングが発生すると DB2 のパフォーマンスに影響を与えるため、IFCID 225 データをレポートで出力できるように CPEDB200 プロセッサを拡張しました。

<対象レポート>

- DB2 システムストレージ使用状況レポート (SW200)

【追加スイッチ】

SW200

- SW200 = 0 : DB2 システムストレージ使用状況レポートを出力しない(省略値)
= 1 : DB2 システムストレージ使用状況レポートを出力する

【DB2 システムストレージ使用状況レポート (SW200)】

<V05L22R2>

ADDRESS SPACE		SHARED AND COMMON STORAGE								
HHMM	DBM1		DIST		SHARED		SHARED STACK		COMMON	
	REAL (MB)	AUX (MB)	REAL (MB)	AUX (MB)	REAL (MB)	AUX (MB)	REAL (MB)	AUX (MB)	REAL (MB)	AUX (MB)
0800	9.27	122.47	0.05	1.34	10.11	24.04	6.16	7.74	2.95	5.88
0801	9.27	122.47	0.05	1.34	10.11	24.04	6.16	7.74	2.95	5.88
0802	9.27	122.47	0.05	1.34	10.11	24.04	6.16	7.74	2.95	5.88
0803	9.27	122.47	0.05	1.34	10.11	24.04	6.16	7.74	2.95	5.88

【注意/制限事項】

- CPEDB200 は現レコードと前レコードの書き出し時刻の差から、インターバル開始時刻を求めています。既存機能の OUTDRTM を指定してインターバルを集約した際、IFCID225 を読み込むことにより、各インターバルに含まれるレコードに差異が生じ、値が変わる場合があります。
(データの欠落は発生しません)

MF-CICS

CICSPRT0

522-214. 緊急性の低いメッセージ出力を抑制

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	-	-	-	レコードタイプ 110.2

レコードタイプ 110.2 には CICS 統計情報が記録されており、その内容は大きくインターバルレコードとイベントレコードに分かれます。イベントレコードはレポート出力には使用しませんが、それが含まれていることを参考情報としてメッセージ出力していました。しかしそれが視認性を妨げる可能性を考慮し、本リリースから出力を抑制するようにしました。

<イベントレコードが含まれていた際のメッセージ>

```

*** 10:00:01 - REQUESTED STATISTICS RECORD FOUND.          THIS RECORD IS NOT PROCESSED. ***
```

MF-eASSIST

PNAVICEC

522-215. CF サブチャンネル関連情報対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	レコードタイプ 74.4

CF サブチャンネル情報が有効なレコードタイプ 74.4 を読み込んだ際、CF サブチャンネル関連データをフラットファイル出力できるように PNAVICEC プロセッサを拡張しました。この拡張によるスイッチの追加はありません。

【出力指定】

```
%PNSYSPLEX STRUCT=YES
```

【追加項目】

【結合機構 (CF) ストラクチャ使用状況 2 レコード】レコード名 : CF_STRUCTURE_2

フィールド名	説明
R744SQRC	サブチャンネル待ちによる遅延要求数(平均)
R744SQTM	サブチャンネル待ちによる遅延時間(平均)(マイクロ秒)
R744SDRC	ダンプ逐次化による遅延要求数(平均)
R744SDTM	ダンプ逐次化による遅延時間(平均)(マイクロ秒)
R744SPTC	ピア・サブチャンネル待ちによる遅延要求数(平均)
R744SPST	ピア・サブチャンネル待ちによる遅延時間(平均)(マイクロ秒)
R744SCTC	ピア完了待ちによる遅延要求数(平均)
R744SCST	ピア完了待ちによる遅延時間(平均)(マイクロ秒)
R744SQRC_MAX	サブチャンネル待ちによる遅延要求数(最大)
R744SQTM_MAX	サブチャンネル待ちによる遅延時間(最大)(マイクロ秒)
R744SDRC_MAX	ダンプ逐次化による遅延要求数(最大)
R744SDTM_MAX	ダンプ逐次化による遅延時間(最大)(マイクロ秒)
R744SPTC_MAX	ピア・サブチャンネル待ちによる遅延要求数(最大)
R744SPST_MAX	ピア・サブチャンネル待ちによる遅延時間(最大)(マイクロ秒)
R744SCTC_MAX	ピア完了待ちによる遅延要求数(最大)
R744SCST_MAX	ピア完了待ちによる遅延時間(最大)(マイクロ秒)

522-216. SuperPAV 関連情報対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	レコードタイプ 78.3

SuperPAV が有効なレコードタイプ 78.3 レコードを読み込んだ際、SuperPAV 関連データをフラットファイル出力できるように PNAVICEC プロセッサを拡張しました。この拡張によるスイッチの追加はありません。

【出力指定】

```
%PNCHPTRC CHP=(chp, chp, .)
%PNCHPOPT IOQUE=YES, HYPAV=YES
```

【追加項目】

【入出力キューイング活動】 レコード名：IQ0

フィールド名	説明
SPAV_AMG	SuperPAV 別名管理グループ番号

【HyperPAV/SuperPAV】 レコード名：HYPAV

フィールド名	説明
SPAV_AMGNUM	SuperPAV 別名管理グループ番号
SPAV_ALIAS_REQ	[合計] SuperPAV 別名が必要であった回数
SPAV_ALIAS_USE	[合計] SuperPAV 別名が使用された回数
SPAV_HOME_NONE_ALIAS	[合計] SuperPAV ホーム LCU で使用可能な別名がなかった回数
SPAV_PEER_BORROW	[合計] SuperPAV 別名をピア LCU から借用した回数
SPAV_PEER_SAME_BORROW	[合計] SuperPAV ピア LCU から同時に借用された別名の数
SPAV_PEER_SAME_MAX	[最大] SuperPAV ピア LCU から同時に借用された別名の最大数
SPAV_LOAN_ALIAS	[合計] SuperPAV 別名がピア LCU に貸し出された回数
SPAV_ALIAS_SAME_LOAN	[合計] SuperPAV ピア LCU に同時に貸し出された別名の数
SPAV_ALIAS_SAME_LOAN_MAX	[最大] SuperPAV ピア LCU に同時に貸し出された別名の最大数
SPAV_PEER_NONE_ALIAS	[合計] SuperPAV ピア LCU で使用可能な別名がなかった回数
SPAV_QUE	[合計] SuperPAV キューに入れられた入出力の累積数
SPAV_ALIAS_USE_TOTAL	[合計] SuperPAV 使用された別名の累積数

PNCICSST

522-217. 緊急性の低いメッセージ出力を抑止

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	レコードタイプ 110.2

レコードタイプ 110.2 には CICS 統計情報が記録されており、その内容は大きくインターバルレコードとイベントレコードに分かれます。イベントレコードはレポート出力には使用しませんが、それが含まれていることを参考情報としてメッセージ出力していました。しかしそれが視認性を妨げる可能性を考慮し、本リリースから出力を抑止するようにしました。

<イベントレコードが含まれていた際のメッセージ>

```
*** 10:00:01 - REQUESTED STATISTICS RECORD FOUND.      THIS RECORD IS NOT PROCESSED. ***
```

PNAVIB2

522-218. DB2_IFCID 225 レコード対応

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	—	—	—	IFCID 225

64 ビットアドレッシング環境において、DB2 は 2GB 以上の領域を使用し、その情報を IFCID 225 レコードに書き出します。この 2GB 以上の領域でページングが発生すると DB2 のパフォーマンスに影響を与えるため、IFCID 225 データをフラットファイル出力できるように PNAVIB2 プロセッサを拡張しました。この拡張によるスイッチの追加はありません。

【追加項目】

【DB2 システムストレージ使用状況】レコード名：DB2_SYSSTOR

フィールド名	説明
INTTIME	インターバル時刻 (HHMMSS)
SUBSYS	サブシステム名
INTVAL	インターバル長 (秒)
DBM1_REAL	DBM1 空間の 64 ビット専用ストレージで使用されている実記憶使用量 (MB)
DBM1_AUX	DBM1 空間の 64 ビット専用ストレージで使用されている外部記憶使用量 (MB)
DIST_REAL	DIST 空間の 64 ビット専用ストレージで使用されている実記憶使用量 (MB)
DIST_AUX	DIST 空間の 64 ビット専用ストレージで使用されている外部記憶使用量 (MB)
A64SHR_REAL	64 ビット共有ストレージに使用されている実記憶使用量 (MB)
A64SHR_AUX	64 ビット共有ストレージに使用されている外部記憶使用量 (MB)
A64SHRSTOCK_REAL	64 ビット共有スタック ストレージに使用されている実記憶使用量 (MB)
A64SHRSTOCK_AUX	64 ビット共有スタック ストレージに使用されている外部記憶使用量 (MB)
A64COMMON_REAL	64 ビット共通ストレージに使用されている実記憶使用量 (MB)
A64COMMON_AUX	64 ビット共通ストレージに使用されている外部記憶使用量 (MB)

【PC】機能一覧 プログラム別

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	20	522-251
	拡張	2	4時間平均MSU使用値の標準グラフ修正	21	522-253
Web	拡張	3	ホストプロセッサ追加・変更に伴うWeb の変換定義ファイル対応	22	522-254

【PC】機能一覧 カテゴリ別

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	20	522-251
	拡張	2	4時間平均MSU使用値の標準グラフ修正	21	522-253
Web	拡張	3	ホストプロセッサ追加・変更に伴うWeb の変換定義ファイル対応	22	522-254

Performance Navigator(拡張)

522-251. Microsoft®365 Apps 環境への対応

Microsoft®365 Apps に対応しました。対象となる更新チャンネルは次の通りです。

<更新チャンネル>

チャンネル	バージョン	ビルド	サービス開始日	サービス終了日
半期エンタープライズチャンネル	2308	16731.20504	2024/1/9	2025/3/11
	2402	17328.20452	2024/7/8	2025/9/9
	2408	17928.20392	2025/1/11	2026/3/10

Performance Navigator(不具合)

522-253. 4 時間平均 MSU 使用値の標準グラフ修正

【現象】

標準グラフ「4 時間平均 MSU 使用値の推移[月次] (時間) 一等高線」において、グラフに表示する時間単位の 4 時間平均 MSU 値に誤りがありました。

【原因】

クエリーに誤りがあり、各時間の先頭インターバルの値が出力される場合があります。

【対処】

各時間の平均値を出力するよう、クエリーを修正しました。

Web(拡張)

522-254. ホストプロセッサ追加・変更に伴う Web の変換定義ファイル対応

ホストプロセッサの機能追加・変更に伴い、Web の変換定義ファイル (xxxxxxx.dat) を対応しました。対応したプロセッサは次の通りです。

- ・ CMOSPRTO
- ・ CPEDB200